

## 付録 C. 自己診断機能

このプリンターには、次の4つの自己診断機能が内蔵されています。

- 初期診断テスト
- 作動時異常検出機能
- 2種類の印字テスト機能
  - 幅の狭い印字テスト : 72 行
  - 幅の広い印字テスト : 132 行
- トレース機能

### 初期診断テスト

この診断テストは、プリンターをリセット（電源投入、またはシステム・ユニットからのリセット信号を受信）したとき、または印字テスト終了後に自動的に働き、操作パネル上のランプおよびスイッチのテスト、内部回路のテスト、ヘッド・キャリアーのホーム位置検出テストを行います。自動給紙機構がセットされていれば自動給紙機構の動作テストも行います。

これらのテストで異常が検出されなければ初期診断テストは最大約10秒で完了し、プリンターの各機能の初期設定がなされて印刷を始める状態になります。異常が検出されれば操作パネル上のランプとメッセージの表示によって異常の内容を操作員に知らせます。

### 作動時異常検出機能

この機能は、プリンターが作動状態にある場合に働いているもので、キャリアー・ドライブ・モーターの動作、ドライブ電圧、記憶域への書き込みなどの状態を監視しています。異常が検出されれば操作パネル上のランプとメッセージの表示によって異常の内容を操作員に知らせます。

## 診断テスト異常対策

初期診断テスト、および作動時異常検出機能によって異常を検出した場合は、点検ランプが点灯すると同時にブザーが鳴り、メッセージの表示によって異常の内容を表示します。

異常の場合のメッセージの意味は、第5章 メッセージ集を参照してください。  
この状態が起こった場合、プリンターの電源スイッチを切りそのまま約30秒ほど待った後、再び電源スイッチを入れてください。

再度同じ状態で停止する場合は、プリンターの故障です。電源スイッチを切り、電源コードを抜き、販売店に連絡してください。

## 印字テスト機能

印字テストには72桁と132桁の印字幅の2種類があり、いずれも内蔵された英数カナ文字を使って指定された印字パターンを印字します。

このテストは、プリンターを移動したときや、インク・リボン・カートリッジを交換したときなどに、プリンターが正常に印刷するかどうかを確認するために用います。

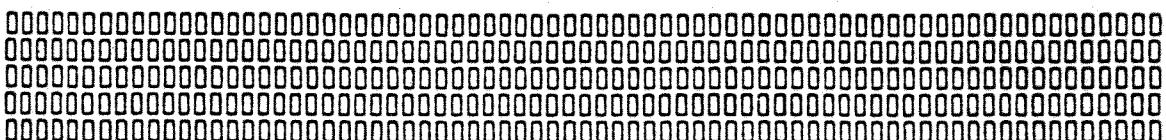
印字テストの場合は、通常の印字とは印字速度も文字パターンも異なりますが、これは異常ではありません。また印字テスト中に用紙がなくなったり紙づまりやカバー開放を検出したときは印字を停止し、これらの状態が解除された後、印刷スイッチが押されると続けて印字します。

印字テストの方法は次ページを参照してください。

## 幅の狭い印字テスト

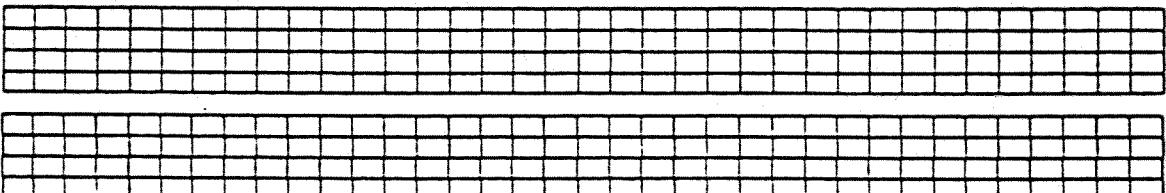
このテストの実行方法は、次のとおりです。

- 1) 印刷不可状態のときは、下段選択スイッチを押す。
- 2) 次項目スイッチを押して「1 インジ テスト」を選択し、設定スイッチを押す。
- 3) 「72 ケタ (桁)」を選択し、設定スイッチを押す。
- 4) 印刷スイッチを押すと、印刷可ランプが点灯し、次に示す 1 行 72 桁の指定された印字パターンを繰り返し印字します。
- 5) 取消スイッチを印刷不可状態で押すと、初期診断テスト実行後、印字前の状態に戻ります。



(.)#+,-./0123456789::<=>?@ABCDEFGHIJKLMN@OPQRSTUVWXYZ()#+,-./0123456789::<=>?@ABCDEFGHIJKLMN@OPQRSTUVWXYZ()#+,-./0123456789::<=>?@ABCDEFGHIJKLMN@OPQRSTUVWXYZ()#+,-./0123456789::<=>?@ABCDEFGHIJKLMN@OPQRSTUVWXYZ()#+,-./0123456789::<=>?@ABCDEFGHIJKLMN@OPQRSTUVWXYZ()

1— 3— 5— 7— 9— 11— 13— 15— 17— 19— 21— 23—  
2— 4— 6— 8— 10— 12— 14— 16— 18— 20— 22— 24—



単票用紙を使用しているときに、用紙下端を検出すると自動的に印字を中断し、用紙を排出します。その後、新たに用紙をセットすると自動的に用紙が吸込まれ、続けて印字します。

注) このテストを行うには、単票用紙では横幅 210 mm (A4 縦) 以上、連続用紙では 8 インチ (203 mm) 以上の用紙を使用してください。

## 幅の広い印字テスト

このテストの実行方法は、次のとおりです。

- 1) 印刷不可状態のときは、下段選択スイッチを押す。
- 2) 次項目スイッチを押して「1 インジ テスト」を選択し、設定スイッチを押す。
- 3) 次項目スイッチを押して「132 ケタ (桁)」を選択し、設定スイッチを押す。
- 4) 印刷スイッチを押すと、印刷可ランプが点灯し、1行 132 桁の指定された印字パターンを繰り返し印字します。
- 5) 印刷不可状態で取消スイッチを押すと、初期診断テスト実行後、印字前の状態に戻ります。

注) このテストを行うには、単票用紙では横幅 364 mm (B4 横) 以上、連続用紙では横幅 13 インチ (330 mm) 以上の用紙を使用してください。

最大印字幅は 13.2 インチまたは 13.6 インチに設定してください  
(4.1 初期設定参照)

